

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
さわやか愛の家やまが館		2025年 1月 21日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5			現在、管理者、児童発達支援管理責任者、児童指導員、指導員での通常となっています。機能訓練指導員の採用も検討しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		危険個所には早急に対応してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			一人一人の特性を考えると十分ではないと感じられますが、特性や個性に合わせた空間にしていけるよう取り組んでいます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			必要に応じて個別の部屋や場所の確保はできます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			事業所内研修を実施し、情報共有を行って職員全員がPDCAサイクル意識して業務に取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の皆様には垂アンケートにご協力いただき、感謝しております。	保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、安心して利用していただけるよう改善をしております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	事業所として外部評価は行っておりませんが、本社による内部監査を定期的に行っております。	法人としては第三者による外部監査を受けています。今後も本社のもと、業務改善に努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			毎月スキルアップ研修を行っております。今後も職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			本年度より作成を行い、保護者様にお知らせをしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			半年に一度モニタリング時に本人や保護者様に家庭でのニーズを聞き、計画作成をしています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			モニタリングを行う前に職員間での支援会議を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			職員がどのように支援を行い、その結果どうであったか支援経過記録を丁寧に記録するようにしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			地域資源の活用や関係機関との連携の在り方を深めて、より要支援構築を行います。事業所と家庭だけではなく地域社会全体での育ちをサポートできる体制を整えてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			毎回活動に楽しく参加できるように、今後も工夫していきます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別支援計画に基づき集団活動と個別活動をそれぞれ取り入れております。	今後も保護者様からのご希望を取り入れながら、集団活動と個別活動を実施します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼時のミーティングの際に当日の活動の振り返りや児童様の様子を共有し、改善点等を話し合っております。	引き続き職員間で打ち合わせを実施し、安全に支援ができるよう努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼時に、当日の活動の振り返りや児童様の様子を共有し、改善点を話し合っております。	今後も、終礼時に振り返りを実施し、当日の出来事や気になったことを全職員での情報共有を行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			記入漏れがないよう今後も継続して記録の確認を行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			長期的な展望を見据えながらより短いスパンでの目標達成の検討も必要に応じて随時受け付けております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			各活動のバリエーションをたようなものにするほか、子供自身の選択を中心に構成できるようにします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			計画段階から意見をくみ取り自己効力感をもって支援に参加できるように構成します。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			日々の様子を職員間でミーティングする際に、児発管がまとめたものを担当者会議で共有できるようにしている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		時間割を学校から渡してもらったり、LINEで時間割を送っていただいております、とても助かっています。	今後も全職員で情報共有をし、支援を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			必要な情報を整理してスムーズな移行ができるように体制を強化してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			積極的にスーパーバイズを要請し、地域の中での役割を果たすことが出来るよう体制を強化してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		交流の機会が持てるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			鹿本地域療育部会に参加をしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			様々な方法で情報共有模索し続け、発達状況や課題など共通理解ができるようにしてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		イベント時、保護者様の参加も行ってまいります。また保護者会などの実施を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			HPの掲載だけでなく、多様な手法にて情報が確実に届く体制作りを強化してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			より一層最善の利益の保証の為に意見を聞く機会だけではなく、どうすれば叶えられることができるのかを考えます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			引き続き保護者様に分かりやすく理解いただけるよう説明をしていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様より相談があった際には、お話を伺い職員間で会議行った後に今後お支援内容をお伝えさせていただいております。	今後もご家庭でのお困りごとやご相談がありましたら、お気軽にお申しつけ下さい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後イベントや保護者会など行事企画を行い、職員や保護者同士の交流を増やしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった際は、苦情受付担当者・苦情解決担当者を中心に全職員で対応を行っています。	問題解決に向けてご意見を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		活動の様子をブログやInstagramで発信しております。	引き続きブログやInstagramの更新を行い、情報発信をまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報保護のための基本方針（プライバシーポリシー）を定めております。	個人情報の取り扱いには引き続き十分注意をまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			より幅広いニーズに応えられるよう体制を整えます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		積極的に行事を計画したり、参加を促すなど、馴染みやすい取り組みを行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			実際に合ったマニュアルの整備を行い訓練を通して常に良い物にしていく努力をまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		災害（2回）、洪水、地震の避難訓練を定期的に実施しております。	今後も継続して避難訓練を実施し、非常災害の発生に備えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			各種の支援ができる人材育成のために服薬やてんかん発作などの研修や訓練を行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	5		現在食物アレルギーに対する意思の診断書が提出されているご利用者様はいらっしゃいません。	保護者様からの聞き取りによるアレルギーに関しては、昼食、おやつ共に対象の食品を除去しております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			安全計画についても見直しを行い訓練を通じて、より安心安全にご利用いただける環境を整備してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		安全計画に基づいて職員間で研修、訓練を行っており、その内容に関しては公式LINEやブログ等のSNSを活用し、取組内容の周知を図っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		終礼の際にヒヤリハットを報告し合い対応を策を検討し記録に残しております。	今後も職員全員で確認、共有し安全に過ごせる環境づくりを行います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止委員会を設置し、虐待防止・身体拘束について研修を行っています。	今後もマニュアルに沿って対応を行ってまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束マニュアルが策定されており、研修も行ってあります。	今後もマニュアルに沿って対応を行ってまいります。